

EP8000 640 model B80 ファームウェア

バージョン: Sys Version NAN04194

SvP Version sc040624

目次

1.0 関連するシステム

2.0 ファームウェア変更来歴

3.0 注意事項と重要なお知らせ

4.0 現在インストールされているファームウェアのバージョンの割出し方

4.1 AIX を使用して、現在インストールされているファームウェアのレベルを調べる方法

4.2 SMS ユーティリティを使用して、現在インストールされているファームウェアのレベルを調べる方法

5.0 ファームウェアのダウンロード方法および適用手順

5.1 インターネットからの手順

5.1.1 AIX 形式ファイルのダウンロード

5.1.2 DOS 形式ファイルのダウンロード

5.2 ファームウェアの遠隔インストール

6.0 ファームウェア更新

6.1 AIX コマンドラインからの手順

6.2 更新の検証

6.3 更新ファイルの保管

1.0 関連するシステム

この更新情報では、640 model B80 サーバ向けの新しいファームウェアを提供します。他のシステムには使用しないで下さい。

この更新に含まれているファームウェアのレベルは、

- ・ Sys FW : NAN04194
- ・ SvP FW : sc040624

です。

注：システム、サービスプロセッサのファームウェアは結合され 1 つのファイルになっています。これは、システム、サービスプロセッサのファームウェア両方が同時に更新され、互換性を保証します。

ファームウェアをインストールするのにかかる平均的な時間は、0.9 時間です。ファームウェアは、インストールされても活性化されず、活性化させるためにシステムリブートが要求されます。リブート時間は、システムとインストールされる構成によって変わります。この推定時間は、平均的なシステムでのものです。

2.0 ファームウェア変更来歴

表 2.1 は、システムファームウェアの各レベルでの変更内容を示しています。

表 2.2 は、サービスプロセッサファームウェアの各レベルでの変更内容を示しています。

表 2.1: システムファームウェア変更内容と来歴	
NAN04194	<ul style="list-style-type: none">・ Added support for AIX 5.3.・ Added support for PCI-X Dual Channel Ultra 320 SCSI RAID Adapter (FC 5703).・ Corrected problem with auto negotiation at 10/100 speeds for 10/100/1000 Base-T Ethernet PCI Adapter (FC 2975).・ GUI SMS menus replaced with text based menus.・ Added remote IPL support in GUI SMS settings menu for 10/100 Mbps Ethernet PCI Adapter II (FC 4962).・ Added support to provide response to APR requests for Hot Standby Router Protocol (HSRP) or other network processes that generate ARP requests during NIM operations.
NAN03276	<ul style="list-style-type: none">・ Corrected boot failure from CD-ROM after SMS Multiboot menus are accessed. This only affects systems equipped with SSA disks.

NAN03156	<ul style="list-style-type: none"> · Resolves ethernet adapter link errors reported in AIX error log during boot on systems equipped with IBM 4-Port 10/100 Ethernet Adapter (FC 4951), IBM Universal 4-Port 10/100 Ethernet Adapter (FC 4961) or integrated adapters based on these adapter types. · Corrected boot failure with 'Default Catch' message displayed on console when booting from tape media containing large boot image. · Enhancements to SMS network adapter menus to resolve various configuration issues and ping test failures. · Enhancements to prevent potential ping and NIM boot failures on SP and Cluster attached servers.
NAN03029	<ul style="list-style-type: none"> · Corrected boot failure with checkpoint E1F6 displayed after bootlist is set via AIX and more than 5 devices are specified. · Corrected missing devices in SMS bootlist when bootlist set via AIX. · Parameter change to limit bootlist entries set via AIX to 5.
NAN02254	<ul style="list-style-type: none"> · Corrected ping failure with auto speed selected for integrated adapter and IBM 10/100 Ethernet PCI Adapter (FC 2968, Type 9-P). · Corrected problem booting from DVD RAM Drive. (FC 2623 and 2627) · Corrected auto configuration, ping and NIM failures on ethernet adapters attached to a switch or router with Spanning Tree Algorithm enabled. · Corrected problem causing intermittent configuration errors with 64bit/66Mhz PCI ATM 155 Adapter (FC 4953 Type A-C and FC 4957 Type A-D). · Correction for boot failure when boot image is located beyond the first 4GB of storage on a disk drive. · Made power supply VPD information visible.
NAN02066	<ul style="list-style-type: none"> · Added support for new device id/vendor id for IBM Universal 4-Port 10/100 Ethernet Adapter (FC4961, Type A-E). · Correction for handling xoff character transmitted to ASCII terminal during boot. Failure symptom: terminal would stop displaying data during boot. · Removed gateway IP address limitation for ping when client and server are on same subnet - gateway address no longer has to be specified as 0.0.0.0. Correction to allow return to SMS Utilities menu after a ping on any token ring adapter.
NAN02035	<ul style="list-style-type: none"> · Added support for IBM 10/100 Mbps Ethernet PCI Adapter II (FC 4962, Type A-F).

	<ul style="list-style-type: none"> · Corrects interruption of NIM boot (via TFTP packet transfer) that was caused by non-TFTP packet transfers. Failure symptoms vary: may hang at E1F7 or 611, trouble booting in maintenance mode. · Changed SMS "ping" routine: If "Server IP Address" is set to "0.0.0.0", only ping "Gateway IP Address". If "Server IP Address" is not set to "0.0.0.0", ping "Server IP Address".
NAN01271	<ul style="list-style-type: none"> · Added support for IBM Gigabit Fibre Channel Adapter for PCI Bus. · Added support for IBM Gigabit Fibre Channel Adapter for 64-bit PCI Bus. · Added support for SAN boot. · Corrected sysplanar0 error that resulted in checkstop 4B2758C4.
NAN01252	<ul style="list-style-type: none"> · Added support for 450MHz processor (FC 4366).
NAN01184	<ul style="list-style-type: none"> · Added support for the IBM PCI Dual Channel Ultra-3 SCSI Adapter (FC 6203, Type 4-Y). · Added support for the IBM 10/100/1000 Base-T Ethernet PCI Adapter (UTP) (FC 2975, Type A-A) · Added support for the IBM Cryptographic Accelerator Adapter (FC 4960, Type 6-J). · Corrected incorrect physical location codes in firmware.
NAN00252	<ul style="list-style-type: none"> · Original (GA) level.

表 2.2: サービスプロセッサファームウェア変更内容と来歴

sc040624	<ul style="list-style-type: none"> · Corrected problem with system time changes during Daylight Savings Time transitions in locales where DST is not observed.
sc031003	<ul style="list-style-type: none"> · Corrected intermittent failure to generate AIX dump and/or display of error 40110001 when Op Panel reset button is depressed.
sc020308	<ul style="list-style-type: none"> · Correction for false occurrence of CPU error codes 4B2xxx51 and 4B2xxx52.
sc020115	<ul style="list-style-type: none"> · Correction to allow Unattended Start Mode to work when A/C power is switched to D/C power (switching to UPS power).
sc010928	<ul style="list-style-type: none"> · Companion level to System firmware level NAN01271.
sc010831	<ul style="list-style-type: none"> · Added support for 450MHz processor (FC 4366).
sc010702	<ul style="list-style-type: none"> · Corrected FRU callout detail for error code 4BA00000.

3.0 注意事項と重要なお知らせ

注意：このパッケージに含まれているファームウェアレベルは、AIX5.3 をインストールする前に必ずインストールしてください。

システム、サービスプロセッサ、ファームウェアは、結合され 1 つのファイルになっています。これは、全てのファームウェアが同時に更新され、互換性を保証します。

このドキュメントの長さで不安にならないで下さい。どの環境のダウンロード/解凍/更新でも、手順は短いものです。このドキュメントでは、幾つかの環境における手順を示しています。あなたのニーズにあった手順があり、あなたが選んだ環境に合うものをガイドします。

ファームウェアの更新のインストールは、並行作業禁止

ファームウェアのインストールは、無条件に AIX のリブートを起す要因になります。それゆえ、全てのユーザオペレーションは、ファームウェアの更新を開始する前に、停止して下さい。

ファームウェア更新失敗の回避

ファームウェア更新失敗のいくつかはお客様サイトでも回復可能であり、再びファームウェア更新を行うことで問題を解決できます。しかし、2 度目の更新の試みが失敗した場合は、壊れたファームウェア・モジュールを含んだ EPROM、又は I/O プレーナを交換して下さい。このようなりカバリが必要とならないように、ここにいくつかの注意事項を示します。

ファームウェアの更新中は、電源 OFF 禁止

更新は失敗するでしょう。更新中のどの時点で電源を落としたかにもよりますが、リカバリの試みは大抵、成功するでしょう。

1 回はリカバリを試す価値はあります。

部品交換に伴う更新

EPROM、又は I/O プレーナが交換される場合、システムとサービスプロセッサのファームウェアが最新レベルであるか確かめる必要があります。

表 3.1 は、システムファームウェアとサービスプロセッサファームウェアのレベルを示して

います。

リリース時期	統合ファームウェア			組合せレベル	
	ファイル名	ファイルサイズ	チェックサム	システムファームウェア	サービスプロセッサファームウェア
August 2004	cb04194.img	1604074	40421	NAN04194	sc040624
December 2003	cb03276.img	1604058	44097	NAN03276	sc031003
August 2003	cb03156.img	1604014	62649	NAN03156	sc020308
April 2003	cb03029.img	1604014	43492	NAN03029	sc020308
November 2002	cb02254.img	1604014	10414	NAN02254	sc020308
March 2002	cb02066.img	1604014	57469	NAN02066	sc020308
March 2002	cb02035.img	1603986	38749	NAN02035	sc020115
October 2001	cb01271.img	1603690	37955	NAN01271	sc010928
September 2001	cb01252.img	1604614	61922	NAN01252	sc010831
July 2001	cb01184.img	1603410	11128	NAN01184	sc010702
Original (GA)	cb00252.img	1601422	17587	NAN00252	sc000908

AIX 命令では、大文字、小文字にセンシティブです。

指示書の中で、続くのは具体的な AIX コマンドと DOS コマンドです。AIX コマンドでは、文字の大きさ、(大文字、小文字)にセンシティブなので、ファイル名を含めて書かれたように正確に入力しなければなりません。DOS コマンドは、文字の大きさにセンシティブではないので、書かれた文字の大きさに注意せずに入力して構いません。

ファームウェアリリース日の割出し方

サービスプロセッサファームウェアのレベル識別子は、8 桁のグレゴリオ暦の年月日を使用しています。(例えば、sc040624 レベルは、20040624 というように) システムファームウェアは 5 桁のユリウス暦の 1 年の日数を使用しています。(例えば、NAN04194 レベル--2004 年 7 月 12 日、2004 年の 194 日目は、04194 というように)

4.0 現在インストールされているファームウェアのバージョンの割出し方

部品番号や、EPROM/FLASH モジュール上のマークされたり、貼付けられているファームウェアのレベルを頼ってはいけません。

なぜなら、モジュールの中身は異なったレベルに更新されているかもしれないからです。安全のためには、常にファームウェアのレベルを電子的にチェックして下さい。

ファームウェアのレベルをチェックするには、下記の 2 つ方法があります。

- ・ OS が起動されている場合は、AIX コマンドラインでの方法を使用して下さい。4.1 節を続けて下さい。
- ・ OS が起動されていない場合は、SMS ユーティリティでの方法を使用して下さい。4.2 節へ飛んで下さい。

4.1 AIX を使用して、現在インストールされているファームウェアのレベルを調べる方法

ファームウェアのレベルをチェックするために

下記を入力して下さい。:

```
lscfg -vp | grep alterable
```

このコマンドは、下記のようなシステム構成レポートを生成します。

```
ROM Level.(alterable)..... sc020308 <== Service Processor FW level
```

```
ROM Level.(alterable).....NAN03029 <== System FW Level
```

ROM レベルの行に、現在インストールされているファームウェアのレベルが表示されます。上の例では、現在のシステムファームウェアのレベルは、NAN03029 であり、サービスプロセッサ・ファームウェアのレベルは、sc020308 です。

現在のシステムファームウェア レベルの右端の 5 桁(日付)が、04194 より早ければ、更新版のインストールを検討して下さい。

現在のサービスファームウェア レベルの右端の 6 桁(日付)が、040624 より早ければ、更新版のインストールを検討して下さい。

もしファームウェアを更新すべきだと判断したなら、5.0 節に進んで下さい。

もしファームウェアは適正で、更新する必要はないと判断したなら、インストールは完了です。

4.2 SMS ユーティリティを使用して、現在インストールされているファームウェアのレベルを調べる方法

システムマネジメントサービス(SMS)ユーティリティへは 2 つの方法でアクセスできます。

- ・ ASCII ターミナルを使用するのであれば、4.2.1 項を続けて下さい。
- ・ グラフィックコンソールを使用するのであれば、4.2.2 項へ飛んで下さい。

2つの方法の手順は、若干異なっていますので、あなたの環境に合った正しい手順を選ぶよう注意して下さい。

4.2.1 ASCII ターミナルを使用する手順

サーバをパワーオンするか、シャットダウン/リスタートさせて下さい。オペレータパネルに E1F1 が表示されたら "1" キーを押して下さい。

ターミナル上に、それぞれのシステムコンポーネントがテストされていることを示すインジケータが表示されます。"keyboard" という単語が表示されたら、すばやく "1" キーを押して下さい。スタートアップ・テスト完了後、SMS メニューが表示されます。

SMS メインメニューの "Display Configuration" の下に、現在のシステムファームウェア、サービスプロセッサ・ファームウェアのレベルがあります。またシステムファームウェアのレベルは、"System Information" の中の "Firmware Level" の行に、サービスプロセッサ・ファームウェアのレベルは、"Service Processor Information" の中の "ROM Level" の行にも表示されています。

現在のファームウェアのレベルを確認したら、メニュー画面での指示に従い、SMS から出て下さい。

現在のシステムファームウェア レベルの右端の 5 桁(日付)が、04194 より早ければ、更新版のインストールを検討して下さい。

現在のサービスプロセッサファームウェア レベルの右端の 6 桁(日付)が、040624 より早ければ、更新版のインストールを検討して下さい。

もしファームウェアの更新すべきだと判断したなら、5.0 節に進んで下さい。もしファームウェアは適正で、更新する必要はないと判断したなら、インストールは完了です。

4.2.2 グラフィック・コンソールを使用する手順

サーバをパワーオンするか、シャットダウン/リスタートさせて下さい。オペレータパネルに E1F1 が表示されたら "F1" キーを押して下さい。コンソール上に、それぞれのシステムコンポーネントがテストされていることを示すインジケータが表示されます。キーボードのアイコンが表示されたら、すばやく "F1" キーを押して下さい。コンポーネント・テスト完了後、SMS メニューが表示されます。

SMS メインメニューの "Config" の下に、現在のシステムファームウェア、サービスプロセ

ッサ・ファームウェアのレベルがあります。

またシステムファームウェアのレベルは、"System Information"の中の"Firmware Level"の行に、サービスプロセッサ・ファームウェアのレベルは、"Service Processor Information"の中の"ROM Level"の行にも表示されています。

現在のファームウェアのレベルを確認したら、メニュー画面での指示に従い、SMS から出て下さい。

現在のシステムファームウェア レベルの右端の 5 桁(日付)が、04194 より早ければ、更新版のインストールを検討して下さい。

現在のサービスファームウェア レベルの右端の 6 桁(日付)が、040624 より早ければ、更新版のインストールを検討して下さい。

もしファームウェアの更新すべきだと判断したなら、5.0 節に進んで下さい。もしファームウェアは適正で、更新する必要はないと判断したなら、インストールは完了です。

5.0 ファームウェアのダウンロード方法および適用手順

ファームウェアのダウンロード方法および更新手順は下記の通りです。

5.1 インターネットからの手順

EP8000 のマシンコードのファイルは、以下 URL からリンクする各マシンコードの更新情報ページにてダウンロードが可能です。

<http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/EP8000/machinecode/machinecode.html>

各更新情報ページ上部のファイルのダウンロードよりファイルをダウンロードして下さい。

ダウンロードファイルは AIX 形式と DOS 形式がありますので、ダウンロードする環境にあった形式を選択ください。

- ・ AIX 形式(AIX サーバまたはシステムへのダウンロード用ファイル)
- ・ DOS 形式(WINDOWS ワークステーションへのダウンロード用ファイル)

次のいずれかの方法で、ターゲットのサーバへファームウェアのファイルを移動してください。

- ・ ターゲットのサーバに直接ダウンロードする。
- ・ 中間の AIX サーバにダウンロードし、ftp または FD にてターゲットのサーバに移動する。
- ・ 中間の WINDOWS ワークステーションにダウンロードし、そこから FD を使用してターゲットのサーバに移動する。

それぞれの詳細なダウンロード方法および更新手順は下記の通りです。

- ・ もし、ダウンロードに AIX システムを使用するなら、5.1.1 項を続けて下さい。
- ・ もし、ダウンロードに WINDOWS ワークステーションを使用するなら、5.1.2 項へ飛んで下さい。

5.1.1 AIX 形式ファイルのダウンロード

AIX システムへダウンロードするのは、この手順を使用して下さい。

注：下記の手順では、具体的な AIX コマンドを示します。AIX コマンドは、大文字/小文字にセンシティブなため、ファイル名も含めて書かれた通り、正確に入力して下さい。

a) AIX 形式ファイルを受信するためのディレクトリを AIX システムに与えて下さい

下記を入力して下さい。：

```
mkdir /tmp/fwupdate
```

注：もし、既に[パス]¥fwupdate というディレクトリが存在する場合、進める前に、中味が空であることを確認して下さい。

b) AIX 形式ファイルを/tmp/fwupdate というディレクトリに移動して下さい。("Save as ..." を使用して下さい。)

ファイル名が 7026B80F.BIN というファイルができます。

c) 下記の手順を実行して、ファイルを開きます。

下記をコマンド入力して下さい。：

```
cd /tmp/fwupdate  
chmod +x 7026B80F.BIN  
./7026B80F.BIN
```

[上記コマンド中のピリオドを見落とさないで下さい。]

これらのファイルが、/tmp/fwupdate に追加されます。

cb04194.img

ReadMe.TXT

- ・ AIX 形式ファイルを直接ターゲットのサーバに移動する場合は、6.0 節ファームウェアの更新に進んで下さい。
- ・ AIX 形式ファイルを中間の AIX システムに移動する場合は、5.1.1.1 項を続けて下さい。

5.1.1.1 FTP 転送方法

この方法では、あなたがターゲットのサーバに ftp で参照できることを前提にしています。

中間の AIX システムで、

下記をコマンド入力して下さい。:

```
ftp {ターゲットのサーバ名}  
{有効なユーザ ID とパスワードでログインして下さい。}
```

```
bin
```

```
lcd /tmp/fwupdate
```

```
mkdir /tmp/fwupdate
```

```
cd /tmp/fwupdate
```

```
put cb04194.img
```

```
quit
```

6.0 節ファームウェアの更新に進んで下さい。

5.1.2 DOS 形式ファイルのダウンロード

WINDOWS ワークステーションへのダウンロードにはこのファイルを使用して下さい。

a) DOS 形式ファイルを受信するためのディレクトリを準備して下さい。

このディレクトリは、6MB の空きがあれば、どのパーティションの中でも構いません。
このようなパーティションでの実行は、手順の中で[パス]と呼ばれます。

(ex. c:¥download),

下記を入力して下さい。:

```
md [パス]¥fwupdate
```

注：もし、既に[パス]¥fwupdate というディレクトリが存在する場合、進める前に、
中味が空であることを確認して下さい。

b) DOS 形式ファイルを[パス]¥fwupdate というディレクトリに移動して下さい。("Save
as ..."を使用して下さい。)

ファイル名が 7026B80F.EXE というファイルができます。

c) 下記の手順を実行して、ファイルを開きます。

下記をコマンド入力して下さい。:

```
cd [パス]¥fwupdate  
7026B80F
```

これらのファイルが、fwupdate サブディレクトリに追加されます。

```
cb04194.img  
26B80_B1.EXE  
26B80_B2.EXE  
readme.txt
```

- ・ ftp を使ってファイルをサーバに移動する場合は、5.1.2.1 項を続けて下さい。
- ・ 中間の AIX システムへファイルを移動するために FD を作成する場合は、5.1.2.2 項へ飛んで下さい。

5.1.2.1 FTP 転送方法

この方法では、あなたがターゲットのサーバに ftp で参照できることを前提にしています。

Windows のワークステーションで、

下記をコマンド入力して下さい。:

```
ftp {ターゲットのサーバ名}  
{有効なユーザ ID とパスワードでログインして下さい。}
```

```
bin  
lcd [/パス]¥fwupdate  
mkdir /tmp/fwupdate  
cd /tmp/fwupdate  
put cb04194.img  
quit
```

6.0 節ファームウェアの更新に進んで下さい。

5.1.2.2 中間の AIX システムへファイルを移動するための FD

1.44MB フォーマット済(2HD)フロッピーディスクが 2 枚必要です。

- a) ドライブに FD を入れ、
下記をコマンド入力して下さい。:

```
cd [/パス]¥fwupdate  
26B80_B1
```

この FD にラベルを付けて下さい。

**"Volume 1: AIX Backup: Combined System (NAN04194) and SvP (sc040624) FW
for 640/B80"**

- b) ドライブに 2 枚目の FD を入れ、
下記を入力して下さい。:

```
cd [/パス]¥fwupdate  
26B80_B2
```

この FD にラベルを付けて下さい。

**"Volume 2: AIX Backup: Combined System (NAN04194) and SvP (sc040624) FW
for 640/B80"**

注：作成された FD は、どれも OS として AIX が起動されているコンピュータで直接使用できるフォーマットになっています。この FD は、PC ツールやコマンドラインオペレーションでは読むことはできません。

- c) 中間の AIX システムで、
下記をコマンド入力して下さい。：

```
mkdir /tmp/fwupdate
```

注：もし、既に/tmp/fwupdate というディレクトリが存在する場合、進める前に、中味が空であることを確認して下さい。

```
cd /tmp/fwupdate
```

```
restore
```

/dev/rfd0 に、volume 1 をマウントするよう指示されます。

中間の AIX システムのドライブに、

```
"Volume 1: AIX Backup: Combined System (NAN04194) and SvP (sc040624) FW for 640/B80"
```

というラベルが貼り付けられた AIX バックアップの FD を入れてください。

volume 2 をマウントするよう指示されたら、

```
"Volume 2: AIX Backup: Combined System (NAN04194) and SvP (sc040624) FW for 640/B80"
```

というラベルが貼り付けられた AIX バックアップの FD を中間のシステムのドライブに入れてください。

これで、ファイルは、/tmp/fwupdate サブディレクトリに入りました。

- d) 下記をコマンド入力して下さい。：

```
ftp {ターゲットのサーバ名}
```

{有効なユーザ ID とパスワードでログインして下さい。}

```
bin
lcd /tmp/fwupdate
mkdir /tmp/fwupdate
cd /tmp/fwupdate
put cb04194.img
quit
```

6.0 節ファームウェアの更新に進んで下さい。

5.2 ファームウェアの遠隔インストール

リモートシステムにファームウェアをインストールするためには、ルート権限でリモートシステムにログインして下さい。リモートシステムの/tmp/fwupdate ディレクトリに、バイナリ形式のファイル `cb04194.img` をコピーして下さい。6.0 節 ファームウェア更新へ進んで下さい。

6.0 ファームウェア更新

システム、サービスプロセッサのファームウェアは、結合され 1 つのファイルになっています。これは、システム、サービスプロセッサのファームウェアが同時に更新され、互換性を保証します。

警告

更新が完了するまで、ターゲットのサーバをパワーオフしてはいけません。

注：チェックサムは、ファイルが壊れていないことや転送中に書込まれていないことを確認するために使用することができます。

AIX のコマンドラインにて、下記を入力して下さい。：

```
sum cb04194.img
```

出力は次のようになり、チェックサムが 40421 であることを確認して下さい。

```
40421 1567 cb04194.img
```

6.1 AIX コマンドラインからの手順

注：下記の手順では、具体的な AIX コマンドを示します。AIX コマンドは、大文字/小文字にセンシティブなため、ファイル名も含めて書かれた通り、正確に入力して下さい。

あなたは、ターゲットのサーバのファームウェアを更新する際、ルート権限が必要です。更新過程では、自動リブートを起すので、システム上で他のユーザアプリケーションが実行中でないことを確認して下さい。

/tmp/fwupdate のサブディレクトリにファイルがある場合、

下記をコマンド入力して下さい。：

```
cd /usr/lpp/diagnostics/bin
./update_flash -f /tmp/fwupdate/cb04194.img
```

[上記コマンド中のピリオドを見落とさないで下さい。]

ファームウェア更新の確認とリブートの確認を尋ねられるでしょう。確認すれば、サーバは新しいファームウェアを適用し、リブートし、AIX プロンプトへ戻ります。ターゲットサーバの構成によりますが、10 分程度かかります。

更新が進んでいる間、3 分間 "Rebooting . . ." という表示がディスプレイ上に見えるでしょう。

ファームウェア更新は完了です。6.2 節に書かれているように更新を検証して下さい。

中間のシステムの FD ドライブに未だ入っているかもしれないファームウェア更新 FD を取出して格納することを忘れないで下さい。これを行うのに良い時期は、リブートが完了した後です。

6.2 更新の検証

更新が成功しているかを検証するために、自動リブートの後に下記の AIX コマンドを使用して下さい。

下記を入力して下さい。：

lscfg -vp | grep alterable

このコマンドは、下記のようなシステム構成リポートを生成します。

```
ROM Level.(alterable)..... sc040624  <== SvP FW level
ROM Level.(alterable).....NAN04194  <== System FW Level
```

ROM のレベルは、インストールしたシステムとサービスプロセッサのファームウェアレベルを示します。システム・ファームウェアは NAN04194、サービスプロセッサ・ファームウェアレベルは sc040624 であるはずで

6.3 更新ファイルの保管

あるファームウェアのレベルをサーバに戻す必要がある場合に、更新毎に部材を識別し、保管することを推奨します。

FD を作成した場合は、ラベルを貼り、安全な所へ格納して下さい。

ファイルを作成した場合は、検索に便利なように識別し、保管して下さい。

株式会社 日立製作所 エンタープライズサーバ事業部 2007 年 10 月

(c) Hitachi, Ltd. 2007, All rights reserved.